

作業開始前の **3分** **KY**



この後、なにが起こった？

私 はこうする！

※正解のヒントは「あなたの現場は大丈夫」に！

あなたの現場は大丈夫？

労働災害発生事例

横浜北署管内発生

掘削作業において湧水の対処中、土砂が流出して埋まる

状況 発生日時 令和2年10月 9時頃 建築工事業

地上4 3階地下2階建てビル新築現場で、深さ10メートルまで縦穴状に掘削し土止め支保工を設け、さらにドラグ・ショベルで約2メートル掘り下げたところで予想を超える湧水があり排水ポンプ設置の段取り中、横矢板下部より土砂が流出して埋まった。



災害のここをチェック

1 調査

地山の掘削作業を行う場合には作業箇所、周囲の地山について、あらかじめ形状、地質、地層、き裂、含水、湧水などの状態についてボーリングその他の適当な方法により調査を行うこと。

2 施工計画

上記調査結果に基づき、掘削面の下方で作業を行う場合にあっては掘削面の崩壊を防止するための防護の方法などを含む施工計画を立て、当該計画により作業を行うこと。

3 土止め支保工の措置等

土砂崩壊により作業者に危険を及ぼすおそれがあるときは、あらかじめ土止め支保工を設け、防護網を張り、作業者の立ち入りを禁止すること、さらに地質の変化、異常な湧水等の状況の変化に応じて当該支保工を補強し、または掘削面の高さを低くし、若しくは掘削面のこう配を緩くすること。

注：イラスト・災害のここはチェックは参考です、実際の災害状況とは異なります。

作業開始前の **3分** **KY**



土止めがない掘削面で
この後、なにが起こった？

私 はこうする！

※正解のヒントは「あなたの現場は大丈夫」に！

あなたの現場は大丈夫？

労働災害発生事例

横浜南署管内発生

土砂崩壊で埋まる

状況 発生日時 令和3年11月 1時45分頃 建築工事業

車両系建設機械により掘削した深さ約2 mの根切り床で、山留めの横矢板壁の測定をしゃがんだ姿勢で行っていたところ、背後の地山が崩れ、地面に尻をついた体制で胸の高さまで土砂に埋まったもの。



災害のここをチェック

- 1 地山の掘削作業を行う場合には作業箇所、周囲の地山について、あらかじめ形状、地質、地層、き裂、含水、湧水などの状態についてボーリングその他の適当な方法により調査を行うこと。
- 2 上記調査結果に基づき、掘削面の下方で作業を行う場合にあっては掘削面の崩壊を防止するための防護の方法などを含む施工計画を立て、当該計画により作業を行うこと。
- 3 土砂崩壊により作業者に危険を及ぼすおそれがあるときは、あらかじめ土止め支保工を設け、防護網を張り、作業者の立ち入りを禁止すること、さらに地質の変化、異常な湧水等の状況の変化に応じて当該支保工を補強し、または掘削面の高さを低くし、若しくは掘削面のこう配を緩くすること

注：イラスト・災害のここはチェックは参考です、実際の災害状況とは異なります。

作業開始前の **3分** **KY**



土止めのない深さ1.3mの溝
この後、なにが起こった？

私 はこうする！

※正解のヒントは「あなたの現場は大丈夫」に！

あなたの現場は大丈夫？

労働災害発生事例

横浜北署管内発生

深さ1.3mの溝で崩壊

状況 発生日時 令和5年3月 12時ごろ 土木工事業

道路に埋設された下水管の交換工事現場で、古い下水管を撤去後の深さ1.3メートル、幅1.1メートル、長さ9メートルの掘削溝に下りてスコップで掘削中、掘削面が土砂崩壊した。75～79歳（1次下請）



災害のここをチェック

- 1 掘削工事を行う際には、事前に発注者から地層、地質などの状況を調査した地質調査資料を入手し、それに基づいた現場の実地調査を行うとともに、掘削開始後においても、随時、地層、地質の状態やそのき裂、含水、湧水などの状況を記録する必要があること。
- 2 地山の崩壊、土塊、土石の落下などのおそれがある場所に労働者を立ち入らせる場合は、あらかじめ土止め支保工の組立図を作成し、それに基づいた土止め支保工を掘削作業開始前に適正に設置しておくこと。
- 3 掘削作業についても、土止め支保工の設置後の作業の方法、手順を定め、全員に周知しておくこと。
- 4 元請と事前にその日の作業開始前に、安全ポイントの打合せを行い、掘削作業における危険性、作業時の注意事項等の相互確認を行っておくこと。

注：イラスト・災害のここはチェックは参考です、実際の災害状況とは異なります。

作業開始前の **3分** **KY**



詰まった . . .

この後、なにが起こった？

私 はこうする！

※正解のヒントは「あなたの現場は大丈夫」に！

あなたの現場は大丈夫？

労働災害発生事例

小田原署管内発生

ホッパーに詰まった土砂を解消しようとして下敷きになる

状況 発生日時 令和3年2月 15時頃 土木工事業

トンネル工事において、掘削土砂の処理プラントのホッパーが詰まったため、ホッパー下端の土砂排出口と排出コンベヤーの隙間からホッパー内に入り、スコップ等で詰まりをかきだしていたところ、詰まりが取れて崩れ落ちてきた土砂の下敷きになった。

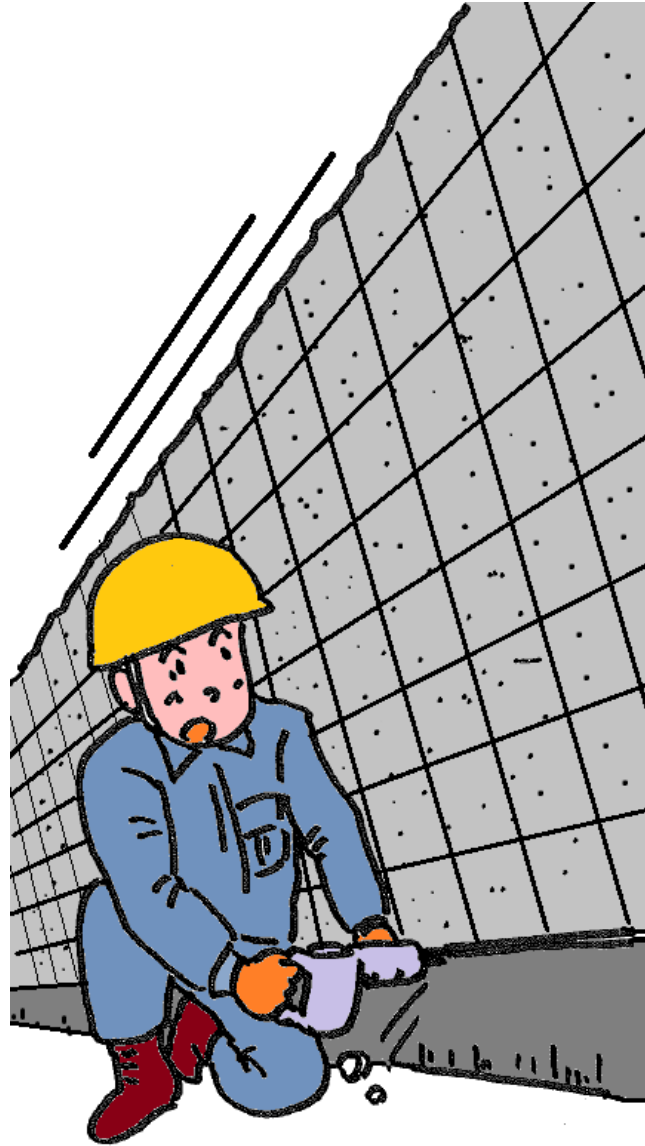


災害のここをチェック

- 1 作業のため土砂等が落下する危険があるときは、立入区域を設定する等当該危険を防止するための措置を講じること。
- 2 雇い入れあるいは作業内容の変更、新規入場時等において、当該作業員に対し、機械等の危険性、取り扱いの方法、作業手順に関すること等従事する業務についての必要な事項の教育を行うこと。

注：イラスト・災害のここはチェックは参考です、実際の災害状況とは異なります。

作業開始前の **3分** **KY**



ブロック塀の解体 . . .
この後、なにが起こった？

私 はこうする！

※正解のヒントは「あなたの現場は大丈夫」に！

あなたの現場は大丈夫？

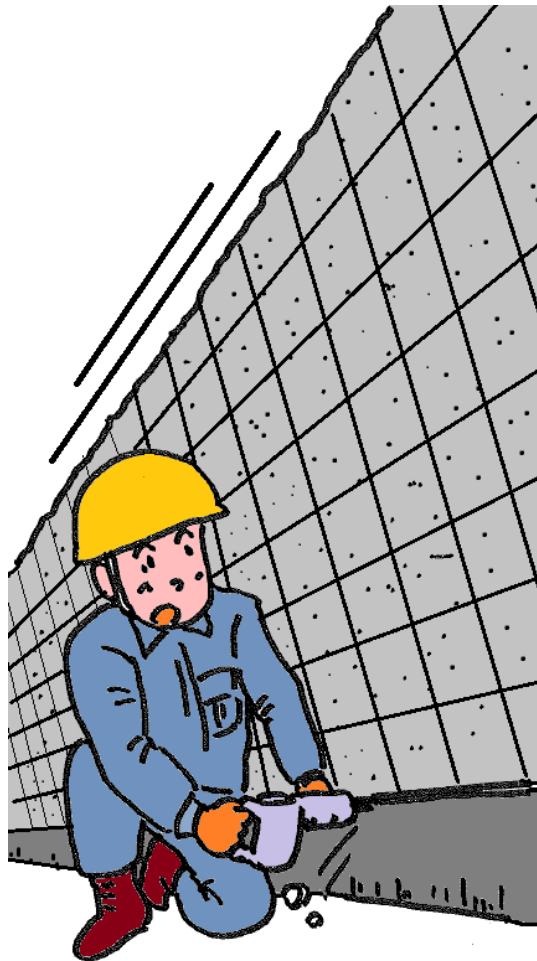
労働災害発生事例

横浜南署管内発生

ブロック塀を解体中、倒れてきた塀の下敷きになる

状況 発生日時 令和3年1月 14時頃 建築工事業

家屋解体工事において、敷地境界線沿いのコンクリートブロック塀を敷地内に倒すため、斫りハンマー（ガソリンエンジン式）で塀の土台との境を横に斫る作業を行い、ほぼ終わったところで塀（長さ約15m、重量約1.8トン）が敷地内に倒れ下敷きになったもの。



災害のここをチェック

- 1 工作物の倒壊による危険を防止するために、あらかじめ、工作物の形状、き裂の有無、周囲の状況等を調査し、当該調査により知り得たところに適応する作業計画を定め、かつ、当該作業計画により作業を行うこと。※
- 2 1の作業計画は、作業の方法及び順序、使用する機械等の種類及び能力、控えの設置、立入禁止区域の設定その他の外壁の倒壊による危険を防止するための方法を示したものとすること。
- 3 コンクリート等で作られた壁、塀等を解体もしくは破壊する場合には、不意の倒壊を防止するための控え、やらず等を設けること。

※1、2の措置は高さが5m以上の場合に義務づけになっているもの

注：イラスト・災害のここはチェックは参考です、実際の災害状況とは異なります。

作業開始前の **3分** **KY**



電動カッターで分割
この後、なにが起こった？

私 はこうする！

※正解のヒントは「あなたの現場は大丈夫」に！

あなたの現場は大丈夫？

労働災害発生事例

横浜西署管内発生

コンクリート塀が倒れる

状況 発生日時 令和7年3月 14時ごろ 建築工事業

住宅解体工事現場において、高さ2.7mのコンクリート塀の取り壊し作業を行うため、手持ち式の電動カッターを用いてコンクリート塀を分割していたところ、塀の上部が倒れ、飛散防止のため近傍でコンパネを持って追従していた被災者が下敷きになり死亡したもの。



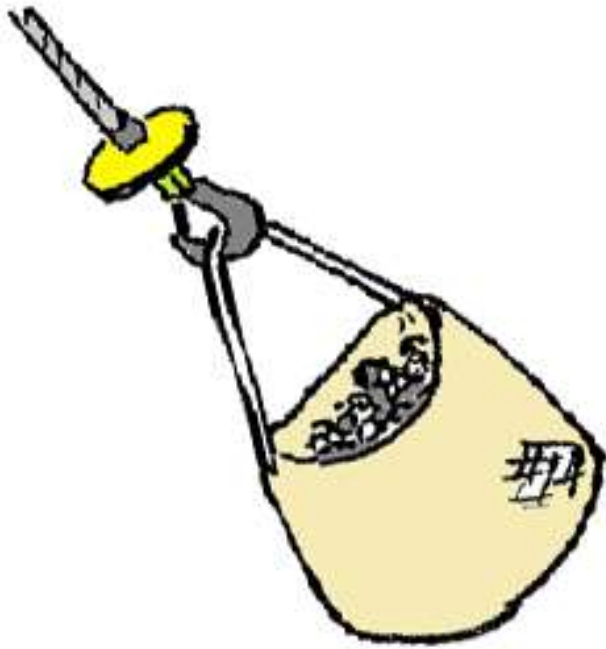
災害のここをチェック

- ① 工作物の倒壊による危険を防止するために、あらかじめ、工作物の形状、き裂の有無、周囲の状況等を調査し、当該調査により知り得たところに適応する作業計画を定め、かつ、当該作業計画により作業を行う。
- ② 上記①の作業計画は、作業の方法及び順序、使用する機械等の種類及び能力、控えの設置、立入禁止区域の設定その他の外壁の倒壊による危険を防止するための方法を示したものとする。
- ③ コンクリート等で作られた壁、塀等を解体もしくは破壊する場合には、不意の倒壊を防止するための控え、やらず等を設ける。

※ ①、②の措置は高さが5 m以上の場合に労働安全衛生法の定めにより必須となっている。

注：イラスト・災害のここはチェックは参考です、実際の災害状況とは異なります。

作業開始前の **3分** **KY**



材料をホイストで上げる
この後、なにが起こった？

私 はこうする！

※正解のヒントは「あなたの現場は大丈夫」に！

あなたの現場は大丈夫？

労働災害発生事例

川崎南署管内発生

ホイストで吊り上げ中に荷が落下

状況 発生日時 令和5年2月 8時ごろ その他の建設工業業

製造工場において高さ27mのタンク上部に設置された排気配管の詰り除去工事を行っていたが、付け替え用のボルトナット約100本（約33kg）を繊維製工具袋に詰め、タンク上部に設置された電気ホイストのフックに袋の持ち手紐を掛けて吊り上げているときに、約17mの高さのところで荷を吊り上げていた工具袋の持ち手紐が切れて落下し、地上で次の荷の準備をしていた被災者の頭部に落下した。

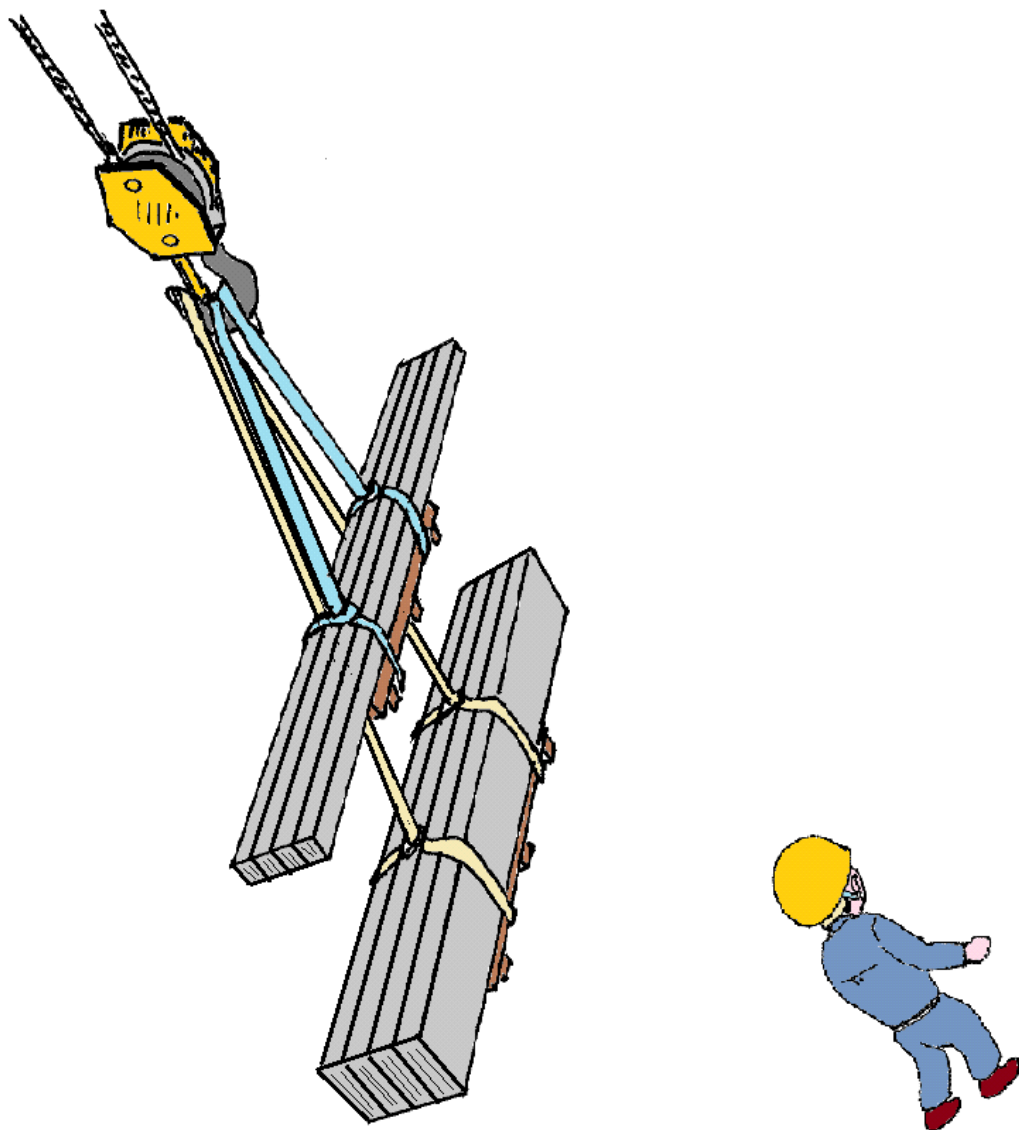


災害のここをチェック

- 1 クレーン等で荷をつり上げる場合には、つり荷の形状、重量等に対応した用具を用い、適切な方法により玉掛けを行うこと。
- 2 つり荷の下には原則として作業者を立ち入らせないこと。
- 3 安全作業体制の確立を図ること。

注：イラスト・災害のここはチェックは参考です、実際の災害状況とは異なります。

作業開始前の **3分** **KY**



つり上げた荷の下に
この後、なにが起こった？

私 はこうする！

※正解のヒントは「あなたの現場は大丈夫」に！

あなたの現場は大丈夫？

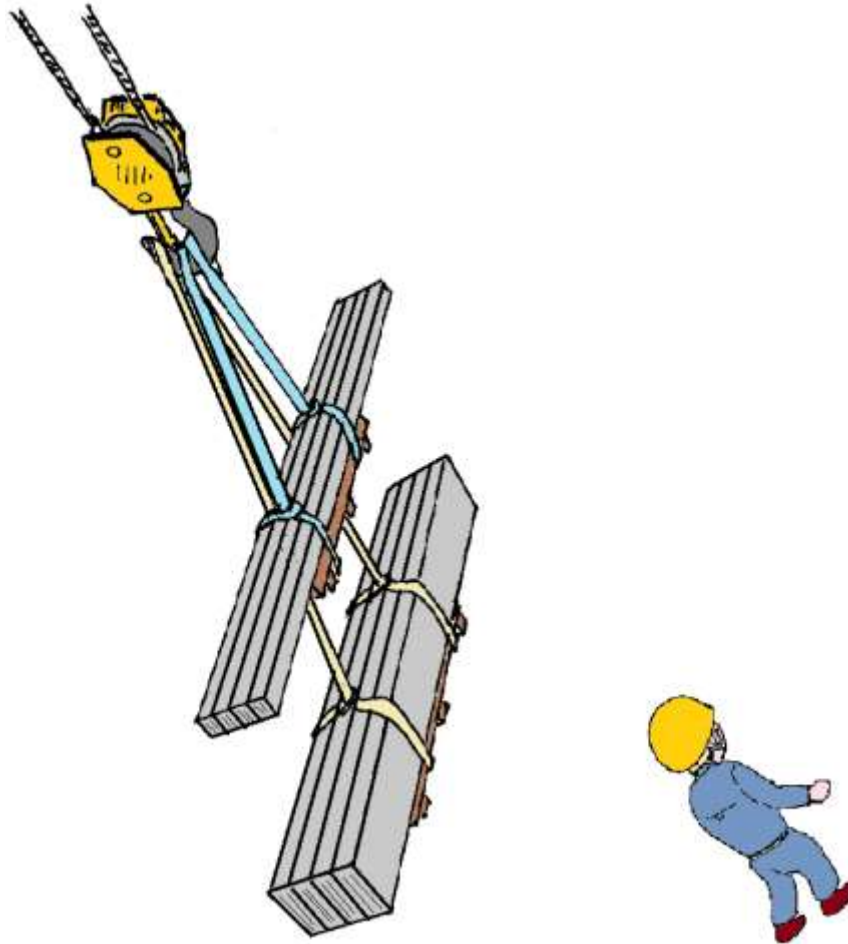
労働災害発生事例

横浜北署管内発生

つり上げた荷が落下してぶつかる

状況 発生日時 令和3年6月 14時頃 建築工事業

6階建てビル新築工事において、屋上に設置した低床ジブクレーンで、バスダクトを積んだパレット2枚（高低差ある2連吊りで合計約500kg）を揚重していた。高さ30m付近で、バスダクト約350kgを積んだパレットのナイロンスリングが2本ともフックから外れ、地上で別作業を準備中の2次下請けの被災者の上に落下した。



災害のここをチェック

1 立ち入り禁止区域を明確に区画すること

クレーンを使用した荷の積卸し作業で荷の落下等による危害のおそれがある場合には、周辺で作業を行っている者(自発的に作業を行う者等を含む)に危険区域への立ち入り禁止を指示するとともに、バリケード等によりその区域を明確にする。

2 作業計画を定め関係者に周知徹底すること

建築工事現場では、複数の関連会社の作業員が混在して、あるいは共同して作業を行うことが多いので、毎日の作業計画について関係会社で十分に連絡調整を行って定め、関係作業者に周知徹底する。

3 吊り方に適切な玉掛け用具の選定

連吊り等一つのフックに複数の玉掛け用具を掛ける場合には、玉掛けワイヤー等に荷の干渉があるので、フックの形状、大きさに見合った玉掛け用具を選定し、確実に外れ止めが有効であることを確認すること。

注：イラスト・災害のここはチェックは参考です、実際の災害状況とは異なります。

作業開始前の **3分** **KY**



建物の解体中に
この後、なにが起こった？

私 はこうする！

※正解のヒントは「あなたの現場は大丈夫」に！

あなたの現場は大丈夫？

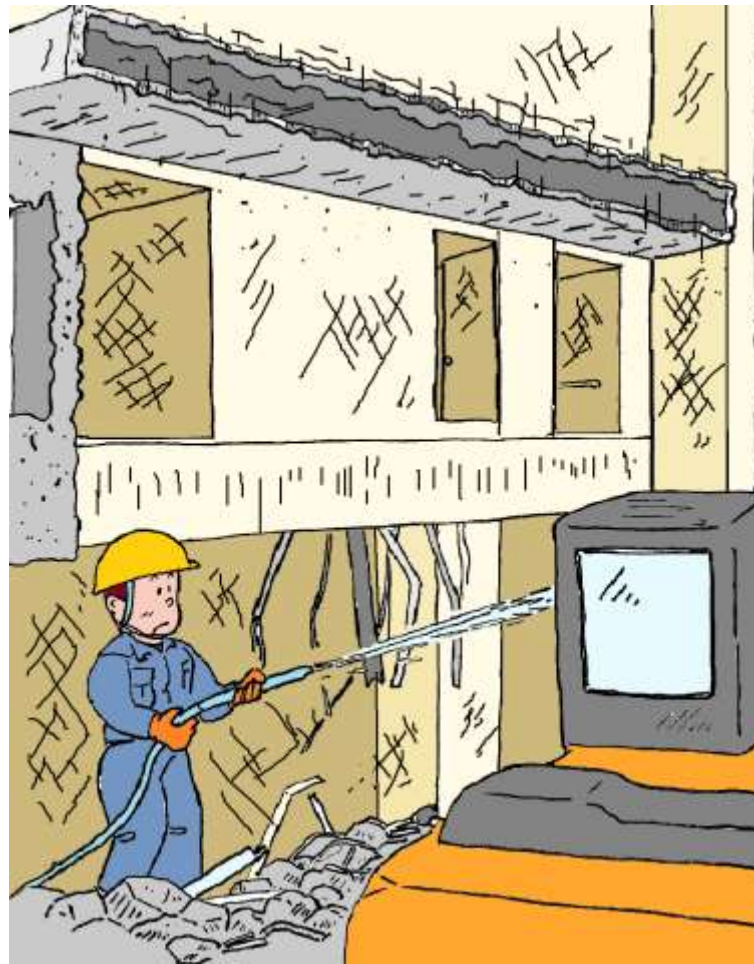
労働災害発生事例

相模原署管内発生

解体中2階の構造物一部が崩落して下敷きになる

状況 発生日時 令和3年9月 15時頃 その他の建築工事

2階建てのRC造の建物解体工事現場において、解体用建設機械を用いて建物を解体していたところ、既存建物の2階の構造物の一部が崩落し、下で散水をしていた被災者が下敷きになったもの。



災害のここをチェック

- 1 工作物の倒壊による危険を防止するために、あらかじめ、工作物の形状、き裂の有無、周囲の状況等を調査し、当該調査により知り得たところに適応する作業計画を定め、かつ、当該作業計画により作業を行うこと。
- 2 1の作業計画は、作業の方法及び順序、使用する機械等の種類及び能力、控えの設置、立入禁止区域の設定その他の外壁の倒壊による危険を防止するための方法を示したものとすること。
- 3 コンクリート造の工作物の解体等作業主任者を選任し、その者が作業の方法及び労働者の配置を決定し、直接作業を指揮すること。

注：イラスト・災害のここはチェックは参考です、実際の災害状況とは異なります。

作業開始前の **3分** **KY**



ワイヤーロープを外す
この後、なにが起こった？

私 はこうする！

※正解のヒントは「あなたの現場は大丈夫」に！

あなたの現場は大丈夫？

労働災害発生事例

藤沢署管内発生

積み荷が落下

状況 発生日時 令和5年10月 13時ごろ 建築工事業

神奈川県内の解体現場で使用した仮設機材をリース業者に返却するため、被災者が、業者の資材置場まで自社トラックで運搬し、地上から、荷(仮設機材)を固定していたジャッキ付き荷掛けワイヤロープを解いたところ、一番上に積んだ荷(重量約170kg)が落下し、下敷きとなった。

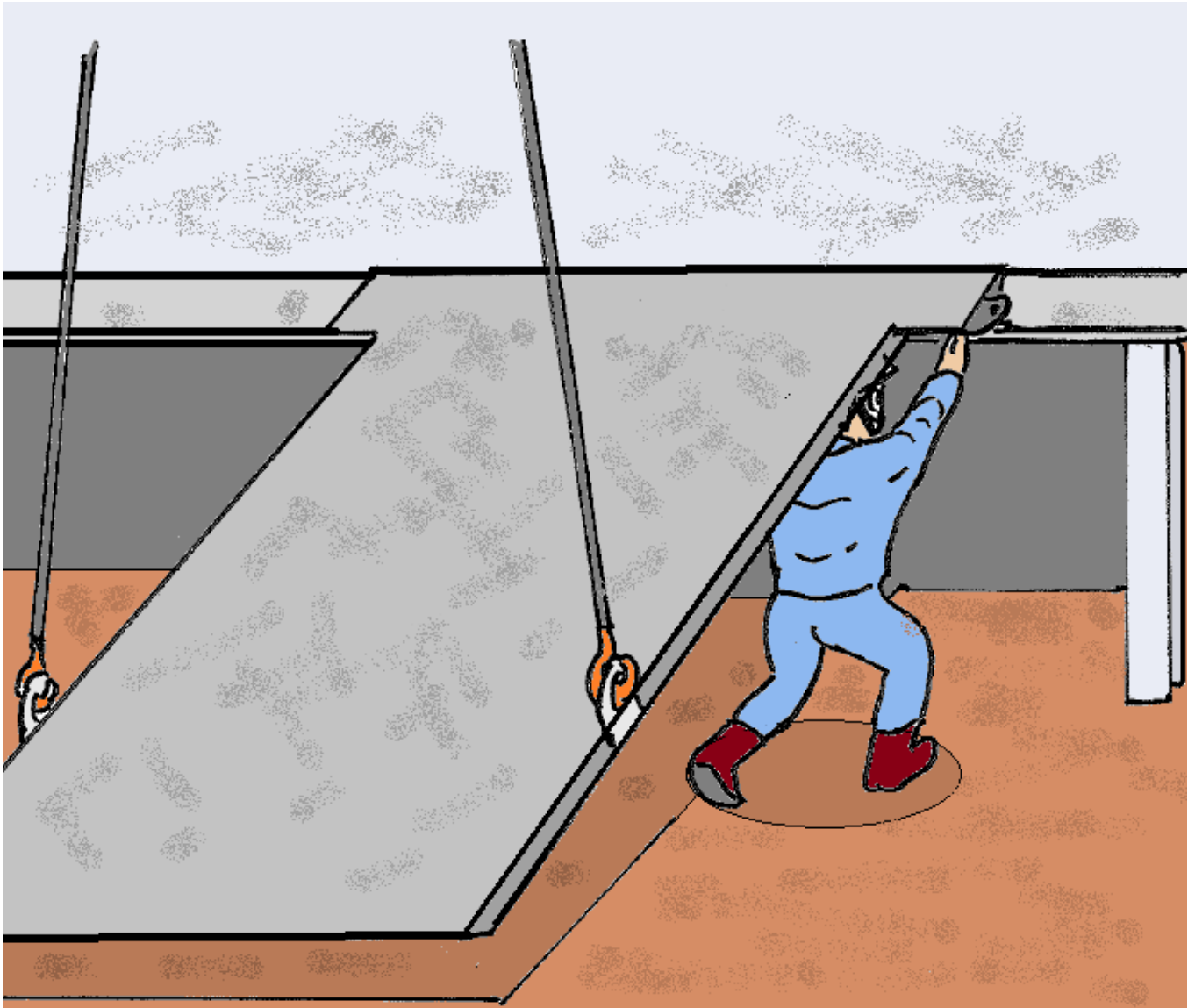


災害のここをチェック

1 積卸し作業中の荷崩れを防止するため、過積載にならないようにし、荷の高さ、積み方による偏荷重などが生じないように積載すること。2 作業計画を見直し、積卸し中の荷の荷崩れによる危険防止対策を確立し、その結果を関係作業者に周知すること。3 積荷の状態を確認し、荷崩れのおそれのあるときは、荷崩れ防止対策を講じてから、荷締器を外すこと。

注：イラスト・災害のここはチェックは参考です、実際の災害状況とは異なります。

作業開始前の **3分** **KY**



鉄板の固定ピンの取り外し
この後、なにが起こった？

私 はこうする！

※正解のヒントは「あなたの現場は大丈夫」に！

あなたの現場は大丈夫？

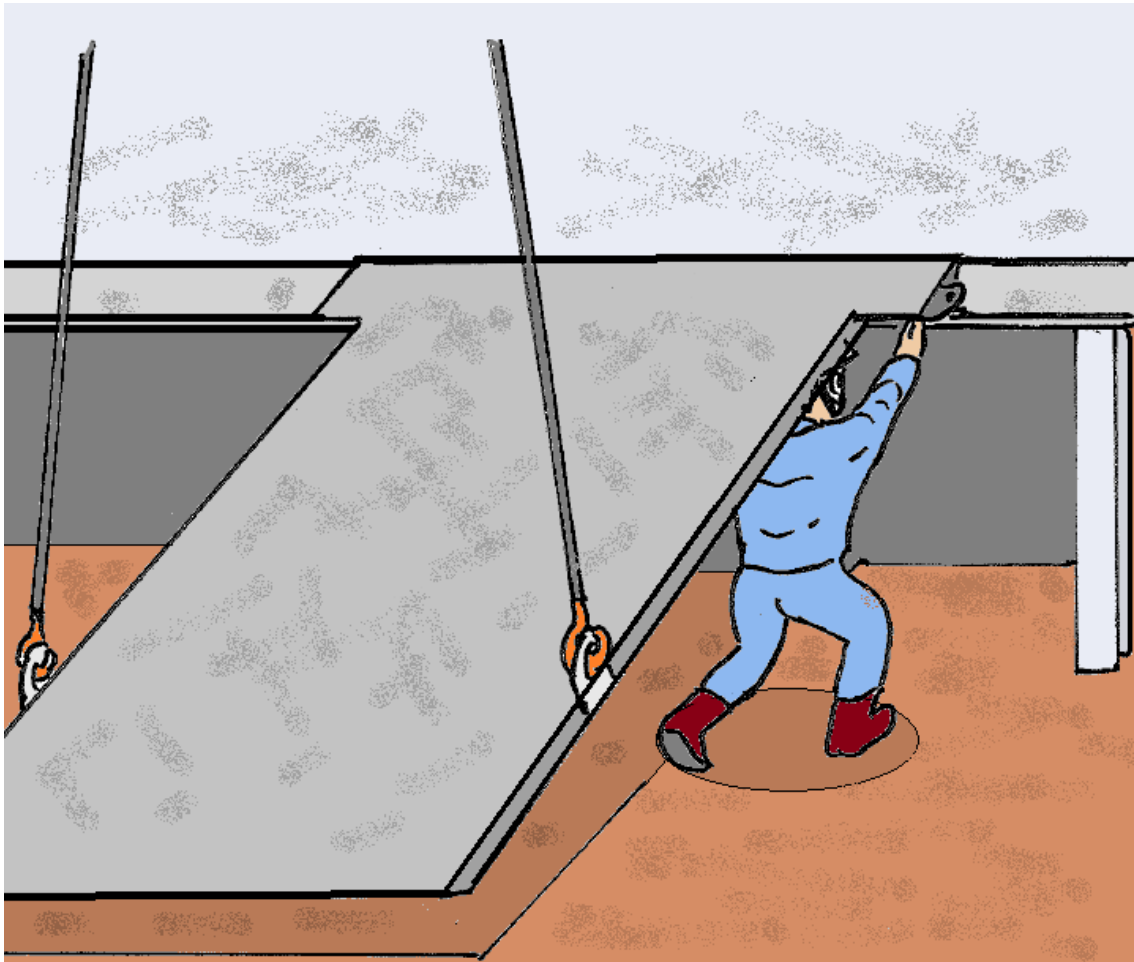
労働災害発生事例

小田原署管内発生

重量物（鉄板）の下敷

状況 発生日時 令和7年5月 14時ごろ 土木工事業

温泉掘削工事現場において、さく井機本体の解体前の工程で、さく井機のやぐらにピン止め固定された鉄板を取り外す作業中、被災者と同僚が鉄板のつりピースに玉掛け、移動式クレーンで地切りして、ピンを抜いたところ、鉄板が被災者側に傾き、激突したもの。



災害のここをチェック

- ① つり荷の下方に立ち入って作業は行わない。やむを得ず立ち入る場合は、つり荷の落下防止措置を行う。
- ② 荷の設置状況の把握、固定の解除等を考慮した人員配置の検討、作業手順を作成し、あらかじめ周知を実施するとともに、リスクアセスメントを実施して作業に伴う危険性を事前に排除する。
- ③ 重量物である荷をつり上げるときは、玉掛け作業の安全に係るガイドラインに基づき、荷の形状や安定性を考慮して作業を行う。

注：イラスト・災害のここはチェックは参考です、実際の災害状況とは異なります。

作業開始前の **3分** **KY**



土止めのない穴で作業中
この後、なにが起こった？

私 はこうする！

※正解のヒントは「あなたの現場は大丈夫」に！

あなたの現場は大丈夫？

労働災害発生事例

横浜北署管内発生

杭頭確認の際に掘削面が崩壊

状況 発生日時 令和5年3月 14時ごろ 建築工事業

ビル新築工事現場で、基礎杭の杭頭の計測のため、杭頭までドラグ・ショベルで穴を掘り、その穴に下りて杭頭の上に残る土をスコップで払い落とし中、掘削面が土砂崩壊した。（元請）

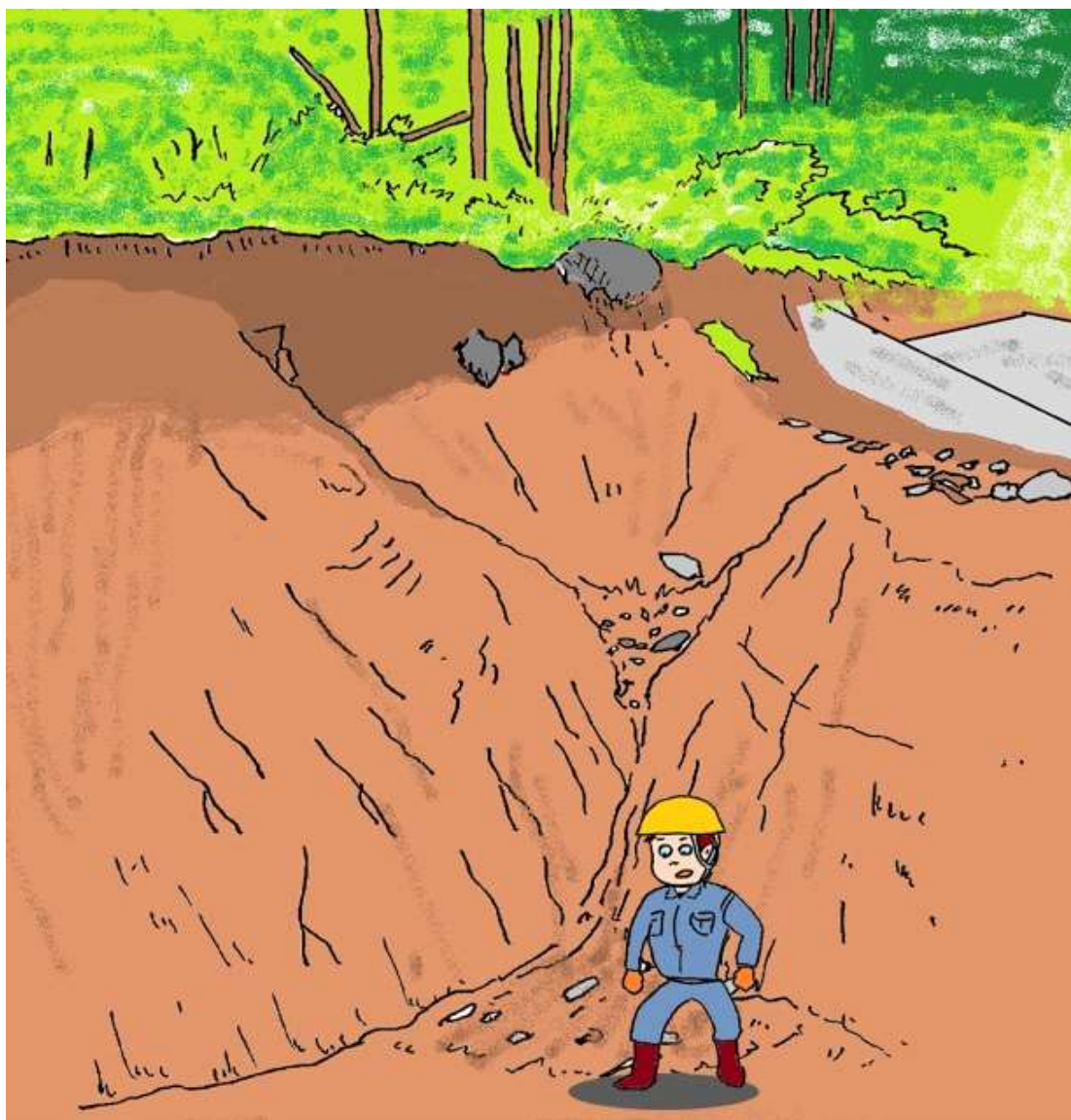


災害のここをチェック

- 1 掘削工事を行う際には、事前に発注者から地層、地質などの状況を調査した地質調査資料を入手し、それに基づいた現場の実地調査を行うとともに、掘削開始後においても、随時、地層、地質の状態やそのき裂、含水、湧水などの状況を記録する必要があること。
- 2 地山の崩壊、土塊、土石の落下などのおそれがある場所に労働者を立ち入らせる場合は、あらかじめ土止め支保工の組立図を作成し、それに基づいた土止め支保工を掘削作業開始前に適正に設置しておくこと。
- 3 掘削作業についても、土止め支保工の設置後の作業の方法、手順を定め、全員に周知しておくこと。
- 4 元請と事前にその日の作業開始前に、安全ポイントの打合せを行い、掘削作業における危険性、作業時の注意事項等の相互確認を行っておくこと。

注：イラスト・災害のここはチェックは参考です、実際の災害状況とは異なります。

作業開始前の **3分** **KY**



治山工事の掘削作業
この後、なにが起こった？

私 はこうする！

※正解のヒントは「あなたの現場は大丈夫」に！

あなたの現場は大丈夫？

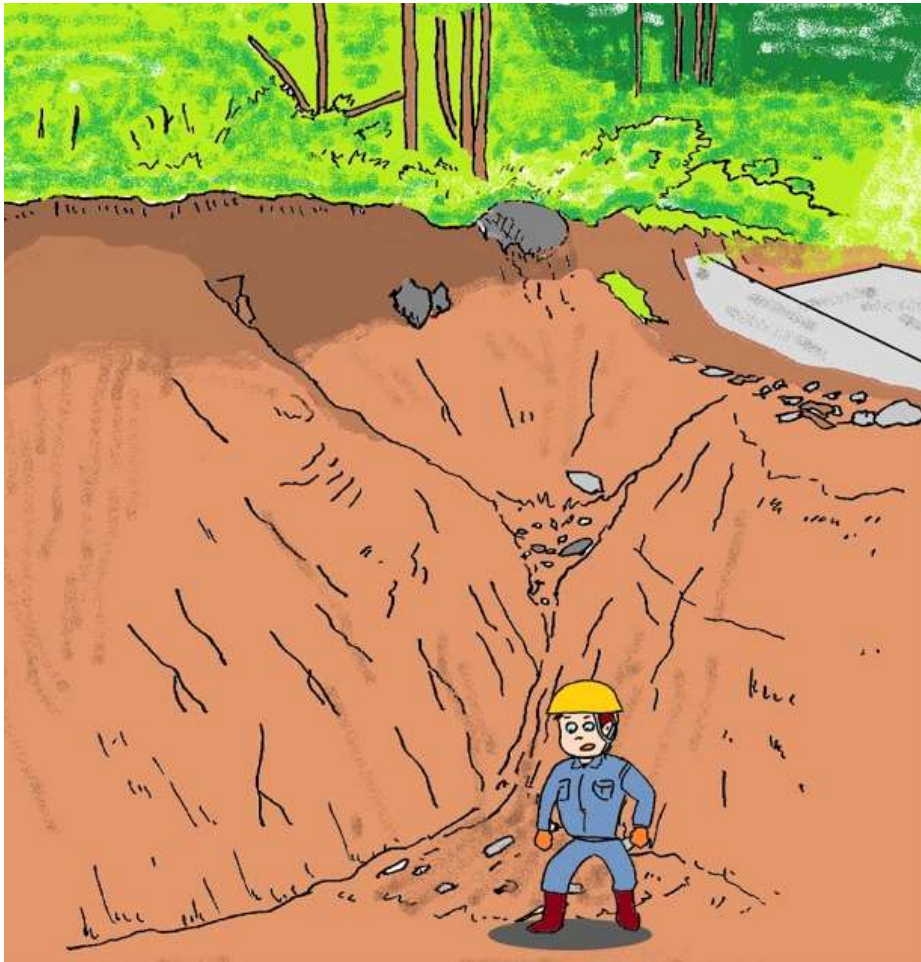
労働災害発生事例

相模原署管内発生

斜面上部から落石

状況 発生日時 令和5年9月 13時ごろ 土木工事業

山林内の崩壊斜面の前に治山ダム（谷止工）を新設する工事現場で、ダム底部の床堀り作業中、斜面上部（高低差10m以上）からの落石（約2m四方）が、道具を使って地ならし中の被災者に当たった。



災害のここをチェック

- 1 作業指揮者の選任、点検責任者の指名等安全管理体制を整備し安全対策を徹底すること
- 2 地山の点検体制を整備し、浮石、含水、凍結の状況等を、気温等の環境条件も考慮した上であらかじめ調査し、その結果に適応した安全な作業方法により作業を行うこと
- 3 作業箇所およびその周辺の地山について、その日の作業を開始する前等に、浮石およびき裂の有無等を点検すること
- 4 地山の崩壊又は、土石の落下により作業者に危険が及ぶおそれがある場合には、安全な勾配(こうばい)とし、浮石の除去、ネットの設置等飛来落下防止対策を講ずること
- 5 作業者に対し、土石の飛来・落下、崩壊などの危険およびその防護対策などについて安全教育を実施すること

注：イラスト・災害のここはチェックは参考です、実際の災害状況とは異なります。